

学校コード F117110105393

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前相談

注2

金沢大学

融合学域

観光デザイン学類

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人金沢大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

企画評価室

職名・氏名

センモンショクイン 専門職員
コジマ ナオト 小島 直人

電話番号

076-264-5020

（夜間）

076-264-5020

e-mail

g1kikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

融合学域

＜観光デザイン学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	52

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人金沢大学

(2) 大学名 金沢大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1192
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ワダ タカシ) 和田 隆志 (令和4年4月)		
学域長	(オオタケ シゲキ) 大竹 茂樹 (令和3年4月)		
学類長	(サムタ ヒカル) 佐無田 光 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
融合学域 観光デザイン学類 学士(学術)	社会学・社会福祉学関係	4 年	15 人	15 人 年次 3	90 人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期											
A 入学定員	() []	15 (15) [1]	1.20倍	「理系一括」及び「文系一括」入試は、按分して計上している。									
志願者数	() []	49 (1) [2]											
受験者数	() []	43 (1) [0]											
合格者数	() []	19 (1) [0]											
B 入学者数	() []	18 (1) [0]											
入学定員超過率 B/A											1.20		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期									
1 年次	[] ()	16 -	- -								
2 年次	/		[] ()	- (-)	- (-)						
3 年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- (-)
4 年次	/						/		[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	16人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	その他	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	ホスピタリティ概論	1④	1							1	
	ファイナンス基礎	1④	1		1						5
	テクノロジー基礎	1④	1								5
	観光デザイン学基礎	2①	2		4	3		3		3	3
	世界変革技術論	2①	1					1		2	2
	人工知能	2①	1					1			1
	フィンテック基礎とビジネス応用	2①	1		1						1
	マーケティング基礎	2①	1								1
	超スマートシティとSociety 5.0	2②	1		1					2	2
	観光倫理学	2②	1								1
	観光の公衆衛生学	2②	1		1						1
	観光法制度論	2②	1								1
	異文化理解とキャリア開発	2③	1								1
	SDGs基礎	2③	1								1
	数理統計学基礎	2③	1				1				1
	北陸観光産業論	2③	1		2						1
	日本の工芸とデザイン	2③	1		1						1
	金融工学	2③	1		1						1
	交流ネットワーク工学	2④	1		1						1
	ダイバーシティ促進	2④	1					1			1
	北陸の都市・農村・文化	2④	1								1
シェアリングエコノミー	2④	1		1						1	
観光地域ビジネス論	2④	1		1						1	
数理解行動モデル基礎	2④	1					1			1	
小計(24科目)	—	2	23	0	5	4	0	3	0	14	
基礎科目	エンタテインメントマネジメント論	2③	1							1	
	SDGs実践	2④	1							1	
	文化観光論	2④	1							1	
	文化と消費社会	2④	1							1	
	持続的な観光	3①	1		1					1	
	伝統文化変容論	3①	1							1	
	比較地域発展論	3①	1							1	
	グローバルブランディング論	3①	1		1					1	
	ヘリテージ・インタープリテーション	3①	2		1					1	
	無形文化遺産論	3②	1		1					1	
	文化と地域経済	3②	1							1	
	生活デザイン論	3②	1							1	
	国際プロジェクトマネジメント・評価法	3②	1		1					1	
	自然観光論	3②	1							1	
	観光資源開発論	3③	1		1					1	
	資源活用と環境共生	3③	1							1	
	人間工学	3③	1							1	
	観光資源マネジメント論	3④	1		1					1	
	実践ブランディング	3④	2							1	
	IoT技術	3④	1							1	
	データサイエンス実践	2④	1					1			1
行動経済学	3④	1		1					1		
Web・クオコミ社会動向分析	3①	1		1					1		
観光データ解析応用	3①	1				2			2		
情報政策論	3①	2							1		
グローバル・アクセシビリティ論	3②	1		1					1		
都市・交通デザイン	3②	1							1		
時空間データ解析	3②	1							1		
知的財産法	3②	2							2		
統計的意思決定論	3②	2							1		
交通工学	3③	1							1		
観光VR・XR	3③	1		1					1		
国際メディア分析論	3③	1		1					1		
国際コンフリクト・マネジメント	3③	1		1					1		
ブランディング最適化	3③	1							1		
データベース論	3③	1							1		
観光DX	3④	1		1					1		
需要予測	3④	1					1		1		
観光地経営論	2③	1		1					1		
地域観光政策論	2④	1							1		
環境と観光	2④	1		1					1		
観光開発・計画論	2④	1		1					1		
地域社会学	2④	1		1					1		
景観デザイン学	3①	1		1					1		
工業デザイン	3①	1							1		
イベント経営論	3①	1							1		
地域マネジメント論	3①	1							1		
コミュニティデザイン論	3①	1		1					1		
リノベーション論	3②	1							1		
社会システム工学	3②	1		1					1		
都市計画	3②	1		1					1		
ソーシャル・ビジネス論	3②	1							1		
パブリックスペース論	3②	1		1					1		
計画プロセス	3③	1		1					1		
観光社会学	3③	1		1					1		
地域居住論	3④	1							1		
ホスピタリティ・マネジメント	3④	1							1		
小計(57科目)	—	0	62	0	8	5	0	3	0	21	
専門科目	観光ビジネス実践A	3①~④	1		1						
	観光ビジネス実践B	3①~④	2		1						
	観光ビジネス実践C	3①~④	4		1						
	観光実践留学A	3①~④	1		1						
	観光実践留学B	3①~④	2		1						
	観光実践留学C	3①~④	4		1						
	国際インターンシップA	3①~④	1		1						
	国際インターンシップB	3①~④	2		1						
	国際インターンシップC	3①~④	4		1						
	小計(9科目)	—	0	21	0	2	1	0	0	0	0
確立科目	融合研究	4①~④	8		1						
	融合演習	4①~④	8		1						
	融合試験	4①~④	8		1						
	小計(3科目)	—	0	24	0	1	2	0	0	0	0
合計(338科目)	—	28	292	0	9	5	0	3	0	104	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	その他	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	ホスピタリティ概論	1④	1							1	
	ファイナンス基礎	1④	1		1						5
	テクノロジー基礎	1④	1								5
	観光デザイン学基礎	2①	2		4	3		3		3	3
	世界変革技術論	2①	1					1		2	2
	人工知能	2①	1					1			1
	フィンテック基礎とビジネス応用	2①	1		1						1
	マーケティング基礎	2①	1								1
	超スマートシティとSociety 5.0	2②	1		1					2	2
	観光倫理学	2②	1								1
	観光の公衆衛生学	2②	1		1						1
	観光法制度論	2②	1								1
	異文化理解とキャリア開発	2③	1								1
	SDGs基礎	2③	1								1
	数理統計学基礎	2③	1				1				1
	北陸観光産業論	2③	1		2						1
	日本の工芸とデザイン	2③	1		1						1
	金融工学	2③	1		1						1
	交流ネットワーク工学	2④	1		1						1
	ダイバーシティ促進	2④	1					1			1
	北陸の都市・農村・文化	2④	1								1
シェアリングエコノミー	2④	1		1						1	
観光地域ビジネス論	2④	1		1						1	
数理解行動モデル基礎	2④	1					1			1	
小計(25科目)	—	2	24	0	5	4	0	3	0	15	
専門基礎科目	エンタテインメントマネジメント論	2③	1							1	
	SDGs実践	2④	1							1	
	文化観光論	2④	1							1	
	文化と消費社会	2④	1							1	
	持続的な観光	3①	1		1					1	
	伝統文化変容論	3①	1							1	
	比較地域発展論	3①	1							1	
	グローバルブランディング論	3①	1		1					1	
	ヘリテージ・インタープリテーション	3①	2		1					1	
	無形文化遺産論	3②	1		1					1	
	文化と地域経済	3②	1							1	
	生活デザイン論	3②	1							1	
	国際プロジェクトマネジメント・評価法	3②	1		1					1	
	自然観光論	3②	1							1	
	観光資源開発論	3③	1		1					1	
	資源活用と環境共生	3③	1							1	
	人間工学	3③	1							1	
	観光資源マネジメント論	3④	1		1					1	
	実践ブランディング	3④	2							1	
	IoT技術	2③	1							1	
	データサイエンス実践	2④	1						1		1
行動経済学	3①	1		1					1		
Web・クオコミ社会動向分析	3①	1		1					1		
観光データ解析応用	3①	1				2			2		
観光産業DX発展	3①	1							1		
情報政策論	3①	2							1		
グローバル・アクセシビリティ論	3②	1		1					1		
都市・交通デザイン	3②	1							1		
時空間データ解析	3②	1							1		
知的財産法	3②	2							2		
統計的意思決定論	3②	2							1		
交通工学	3③	1					</				

卒業要件及び履修方法

以下の要件を満たし、合計124単位以上（融合試験履修者は130単位以上）を修得した者。

- ・共通教育科目において導入科目から3単位、GS科目に配置する1群から5群の各群から2単位以上、6群から3単位を含む計15単位、GS言語科目から8単位（日本人学生の場合は日本語を除く必修8単位、留学生の場合は日本語の必修2単位を含む8単位）、基礎科目又は初級言語科目（1言語）から8単位を含め、計36単位以上を修得。
- ・専門教育科目において学域GS科目6単位、学域GS言語科目2単位、実践科目から必修5単位を含め13単位、基盤科目から必修2単位を含め19単位、学知科目から26単位（同一のコアエリアから13単位以上、かつ、残る2コアエリアから各1単位以上を含む）、鍛錬科目から4単位、確立科目から8単位を含め、計88単位以上（融合試験履修者は94単位以上）を修得。

卒業要件及び履修方法

以下の要件を満たし、合計124単位以上（融合試験履修者は130単位以上）を修得した者。

- ・共通教育科目において導入科目から3単位、GS科目に配置する1群から5群の各群から2単位以上、6群から3単位を含む計15単位、GS言語科目から8単位（日本人学生の場合は日本語を除く必修8単位、留学生の場合は日本語の必修2単位を含む8単位）、基礎科目又は初級言語科目（1言語）から8単位を含め、計36単位以上を修得。
- ・専門教育科目において学域GS科目6単位、学域GS言語科目2単位、実践科目から必修5単位を含め13単位、基盤科目から必修2単位を含め19単位、学知科目から26単位（同一のコアエリアから13単位以上、かつ、残る2コアエリアから各1単位以上を含む）、鍛錬科目から4単位、確立科目から8単位を含め、計88単位以上（融合試験履修者は94単位以上）を修得。

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**大学の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。
 - ・ 2つの表が1ページに表示されるようにしてください。
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 共通教育科目の見直しにより、「異文化間コミュニケーション」の教員配置を兼任1から兼任2に変更。
- ・ 専門教育科目の見直しにより、授業科目に「観光DX・PBL演習Ⅰ」、「観光DX・PBL演習Ⅱ」、「北陸の農林水産・製造業」を追加。
- ・ 専門教育科目の見直しにより、「観光DX」の科目名称を「観光産業DX発展」に変更し、配当年次を「3年4Q」から「3年1Q」に変更。
- ・ 配当年次の見直しのため、「デザイン思考」を「1年4Q」から「1年2Q」に変更。
- ・ 配当年次の見直しのため、「行動経済学」を「2年4Q」から「2年3Q」に変更。
- ・ 単位数の見直しのため、「アントレプレナー演習Ⅰ」及び「アントレプレナー演習Ⅱ」の単位数を「2単位」から「1単位」に変更。
- ・ 単位数の見直しのため、「資源活用と環境共生」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。
- ・ 単位数の見直しのため、「ソーシャル・ビジネス論」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	312 科目	0 科目	336 科目	26 科目 [2]	323 科目 [11]	0 科目 [0]	349 科目 [13]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	アントレプレナーシップⅠ	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
2	実践アントレプレナー学	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
3	異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
4	英国諸島の地史Ⅰ	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
5	英国諸島の地史Ⅱ	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
6	プログラミング演習Ⅰ	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
7	プログラミング演習Ⅱ	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

共通教育科目は、毎年、教育内容や教育効果について検討しブラッシュアップを行っているため、廃止科目が生じることはやむを得ないと考える。また、適宜科目を追加している。
学生に対しては、毎年、授業開始前にWebや掲示等を通じて開講科目を周知しているため、問題ない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{7}{336} = \boxed{2.08}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 研究所新設のため (3)			
	校舎敷地	730,408 m ²	0 m ²	0 m ²	730,408 m ²				
	運動場用地	115,740 m ²	0 m ²	0 m ²	115,740 m ²				
	小 計	846,148 m ²	0 m ²	0 m ²	846,148 m ²				
	そ の 他	1,717,530 m ²	0 m ²	0 m ²	1,717,530 m ²				
	合 計	2,563,678 m ²	0 m ²	0 m ²	2,563,678 m ²				
(2) 校舎	専 用	284,135 m ² 283,999 m² (284,135 m ²) (283,999 m²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	284,135 m ² 283,999 m² (284,135 m ²) (283,999 m²)	大学全体 建物増築のため(3) 建物増築のため(4)			
	講義室	162室	演習室	208室	実験実習室	1,180室	情報処理学習施設	11室 (補助職員 0人)	語学学習施設
(3) 教室等	新設学部等の名称				室 数	(例) 令和4年4月 専任教授1名を新規 採用のため(4)			
(4) 専任教員研究室	融合学域 観光デザイン学類				17 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位で特定不能の ため、大学全体の数量	
		融合学域 観光デザイン学 類	1,914,343 [678,557] (1,914,343 [678,557])	35,708 [13,079] (35,708 [13,079])	10,744 [9,292] (10,744 [9,292])	8,336 (8,336)	8,986 (8,986)		212 (212)
	計	1,914,343 [678,557] (1,914,343 [678,557])	35,708 [13,079] (35,708 [13,079])	10,744 [9,292] (10,744 [9,292])	8,336 (8,336)	8,986 (8,986)	212 (212)		
	電子ジャーナル 〔うち外国書〕								
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			何丁増換のよみ書本 入れ替え等のため(3) 様式破損および書架		
	19,794m ²	2,194 2,185		1,633,859 1,640,536					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	6,295m ²	可動屋根付プール (1,193 m ²)		弓 道 場 (162 m ²)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	－千円	
	共同研究費等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		－							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
融合学域						1.08	1.07				
先導学類	4	55		110	学士(学術)	1.06	1.03	-	令和3	石川県金沢市角間町	
観光デザイン学類	4	15		15	学士(学術)	1.20	1.20		令和4	同上	
人間社会学域						1.02	1.02				
人文学類	4	138	-	569	学士(文学)	1.02	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△4) 令和4年度入学定員変更(△3)
法学類	4	150	3年次10	670	学士(法学)	1.01	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△10) 令和4年度入学定員変更(△10)
経済学類	4	131	-	532	学士(経済学)	1.00	1.01	-	平成20	同上	入学定員変更(△4)
学校教育学類 共同教員養成課程	4	85	-	85	学士(教育学)	1.02	1.02	-	令和4	同上	
地域創造学類	4	88	-	356	学士(地域創造学)	1.03	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
国際学類	4	81	-	334	学士(国際学)	1.02	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△2)
学校教育学類	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和4年度学生募集停止
理工学域						1.03	1.03				
数物科学類	4	82	3年次5	338	学士(理学)	1.01	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△2)
物質化学類	4	79	3年次4	324	学士(理学・工学)	1.04	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
機械工学類	4	97	3年次10	408	学士(工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
フロンティア工学類	4	107	3年次5	438	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
電子情報通信学類	4	78	3年次7	326	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
地球社会基盤学類	4	98	3年次7	406	学士(理学・工学)	1.02	1.04	石川県金沢市角間町	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
生命理工学類	4	58	3年次2	236	学士(理学・工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△1)
機械工学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
電子情報学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
環境デザイン学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
医薬保健学域						1.01	1.01				
医学類	6	112	2年次5	697	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	平成20	石川県金沢市宝町13-1	入学定員変更(12) ※臨時定員増継続
薬学類	6	65	-	270	学士(薬学)	1.04	1.00	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(30)
医薬科学類	4	18	-	36	学士(生命医学・創薬科学)	1.05	1.05	-	令和3	同上	
保健学類						1.01	1.01				
看護学専攻	4	79	3年次10	338	学士(看護学)	1.00	1.00	-	平成20	石川県金沢市小立野5-11-80	令和3年度入学定員変更(△1)
診療放射線技術専攻	4	40	3年次5	170	学士(保健学)	1.01	1.02	-	平成20	同上	

検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	1.00	-	平成20	同上	
理学療法科学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.09	1.06	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5)
作業療法科学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.05	1.06	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5)
創薬科学類	4	-	-	-	学士 (創薬科学)	-	-	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度学生募集停止
大学全体	-	1,726	95	7,383	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	金沢大学大学院					学生募集停止学科数	9	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	3	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会環境研究科											
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学術)	0.82	0.82	-	平成24	石川県金沢市角間町	
経済学専攻	2	6	-	12	修士 (経済学・経営学・学術)	1.50	1.50	-	平成24	同上	
地域創造学専攻	2	14	-	28	修士 (地域創造学・学術)	1.28	1.21	-	平成24	同上	
国際学専攻	2	10	-	20	修士 (国際学・学術)	0.55	0.40	-	平成24	同上	
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境学・文学・法学・政治学・経済学・学術)	1.08	0.91	-	平成18	同上	
法学・政治学専攻	2	-	-	-	修士 (法学・政治学)	-	-	-	平成24	同上	令和2年度学生募集停止
自然科学研究科											
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学術)	1.04	0.88	-	平成24	石川県金沢市角間町	
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工学・学術)	1.04	0.90	-	平成24	同上	
機械科学専攻	2	72	-	72	修士 (工学・学術)	0.90	0.90	-	令和4	同上	
フロンティア工学専攻	2	83	-	83	修士 (工学・学術)	1.08	1.08	-	令和4	同上	
電子情報通信学専攻	2	63	-	63	修士 (工学・学術)	1.03	1.03	-	令和4	同上	
地球社会基盤学専攻	2	69	-	69	修士 (理学・工学・学術)	0.81	0.81	-	令和4	同上	
生命理工学専攻	2	41	-	41	修士 (理学・工学・学術)	0.92	0.92	-	令和4	同上	
数物科学専攻	3	15	-	45	博士 (理学・学術)	0.57	0.26	-	平成16	同上	
物質化学専攻	3	14	-	42	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.70	-	平成26	同上	
機械科学専攻	3	25	-	75	博士 (工学・学術)	0.44	0.40	-	平成26	同上	
電子情報科学専攻	3	18	-	54	博士 (工学・学術)	0.42	0.16	-	平成16	同上	
環境デザイン学専攻	3	10	-	30	博士 (工学・学術)	0.83	0.20	-	平成26	同上	
自然システム学専攻	3	21	-	63	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.42	-	平成26	同上	
機械科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
電子情報科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
環境デザイン学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
自然システム学専攻	2	-	-	-	修士 (理学・工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
医薬保健学総合研究科											
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.93	0.73	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	-	256	博士 (医学)	1.02	0.92	-	平成28	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学・学術)	0.81	1.25	-	平成24	石川県金沢市角間町	
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	0.99	1.15	-	平成24	同上	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	1.06	1.09	-	平成24	同上	

保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.75	0.80	-	平成24	石川県金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	0.81	0.60	-	平成24	同上	
脳医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	平成28年度学生募集停止
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
循環医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
先進予防医学研究科											
先進予防医学共同専攻	4	12	-	48	博士 (医学)	0.95	0.58	-	平成28	石川県金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科											
融合科学共同専攻	2	14	-	28	修士 (融合科学)	1.03	0.85	-	平成30	石川県金沢市角間町	
融合科学共同専攻	3	14	-	28	博士 (融合科学・理学・工学)	0.18	0.28	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	2	6	-	18	修士 (ナノ科学)	1.66	1.16	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	3	6	-	18	博士 (ナノ科学)	1.44	1.16	-	令和2	同上	
法学研究科											令和2年度名称変更
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政治学)	0.45	0.25	-	令和2	石川県金沢市角間町	
法務専攻	3	15	-	45	法務博士 (専門職)	0.73	0.93	-	平成16	同上	
教職実践研究科											
教職実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.96	0.93	-	平成28	石川県金沢市角間町	
大学院全体	-	926	-	2,143	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<先導学域 観光デザイン学類>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞鍋 知子 <令和4年4月> 博士(文学)
		ワークショップデザイン演習 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 地域社会学 観光社会学 融合試験
専	教授	堤 敦朗 <令和4年4月> 博士(保健学)・博士(医学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 観光の公衆衛生学 国際プロジェクトマネジメン ト・評価法 グローバル・アクセシビリティ 論 観光実践留学A 観光実践留学B 観光実践留学C
専	教授	藤澤 美恵子 <令和4年4月> 博士(工学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ シェアリングエコノミー 行動経済学 観光ビジネス実践A 観光ビジネス実践B 観光ビジネス実践C

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞鍋 知子 <令和4年4月> 博士(文学)
		ワークショップデザイン演習 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 地域社会学 観光社会学 融合試験
専	教授	堤 敦朗 <令和4年4月> 博士(保健学)・博士(医学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 観光の公衆衛生学 国際プロジェクトマネジメン ト・評価法 グローバル・アクセシビリティ 論 観光実践留学A 観光実践留学B 観光実践留学C
専	教授	藤澤 美恵子 <令和4年4月> 博士(工学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ シェアリングエコノミー 行動経済学 観光ビジネス実践A 観光ビジネス実践B 観光ビジネス実践C

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	沈 振江 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 景観デザイン学 都市計画 計画プロセス
専	教授	西山 宣昭 ＜令和4年4月＞ 工学博士
		アプリ開発 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光DX
専	教授	佐藤 正英 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		プログラミングスキル 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光VR・XR

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	沈 振江 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 景観デザイン学 都市計画 計画プロセス
専	教授	西山 宣昭 ＜令和4年4月＞ 工学博士
		アプリ開発 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光産業DX発展
専	教授	佐藤 正英 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		プログラミングスキル 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光VR・XR

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 真希子 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 日本の工芸とデザイン グローバルブランディング論 Web・クチコミ社会動向分析 国際メディア分析論 国際コンフリクト・マネジメント
専	教授	松島 大輔 ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		アントレプレナー基礎 アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ
専	教授	敷田 麻実 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		ビジネスプラン作成演習 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 観光地域ビジネス論 観光資源開発論 観光資源マネジメント論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 真希子 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		日本語A1-1 日本語A1-2 日本語A2-1 日本語A2-2 日本語A3-1 日本語A3-2 日本語A4-1 日本語A4-2 アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 日本の工芸とデザイン グローバルブランディング論 Web・クチコミ社会動向分析 国際メディア分析論 国際コンフリクト・マネジメント
専	教授	松島 大輔 ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		アントレプレナー基礎 アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ
専	教授	敷田 麻実 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		ビジネスプラン作成演習 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 観光地域ビジネス論 観光資源開発論 観光資源マネジメント論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 菜緒子 ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (米国)
		大学・社会生活論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 環境と観光 持続的な観光 ヘリテージ・インタープリテーション 国際インターンシップA 国際インターンシップB 国際インターンシップC
		丸谷 耕太 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
専	准教授	アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 北陸観光産業論 コミュニティ・デザイン論 パブリックスペース論 融合演習
		川澄 厚志 ＜令和4年4月＞ 博士(国際地域学)
専	准教授	アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 北陸観光産業論 観光地経営論 観光開発・計画論 融合研究
		川澄 厚志 ＜令和4年4月＞ 博士(国際地域学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 菜緒子 ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (米国)
		大学・社会生活論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 環境と観光 持続的な観光 ヘリテージ・インタープリテーション 国際インターンシップA 国際インターンシップB 国際インターンシップC
		丸谷 耕太 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
専	准教授	アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 北陸観光産業論 コミュニティ・デザイン論 パブリックスペース論 融合演習
		川澄 厚志 ＜令和4年4月＞ 博士(国際地域学)
専	准教授	アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 北陸観光産業論 観光地経営論 観光開発・計画論 融合研究
		川澄 厚志 ＜令和4年4月＞ 博士(国際地域学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小高 敬寛 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		現代世界への歴史学的アプローチ 創生インターンシップ 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 無形文化遺産論
専	准教授	松本 拓史 ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ ファイナンス基礎 フィンテック基礎とビジネス応用 超スマートシティとSociety 5.0 ※ 金融工学 社会システム工学
専	助教	山口 裕通 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		観光デザイン学基礎※ 数理統計学基礎 データサイエンス実践 需要予測
専	助教	日比野 由利 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		データサイエンス基礎 観光データ解析演習 観光デザイン学基礎※ 世界変革技術論※ ダイバーシティ促進 観光調査法 観光データ解析応用

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小高 敬寛 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		現代世界への歴史学的アプローチ 創生インターンシップ 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 無形文化遺産論
専	准教授	松本 拓史 ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ ファイナンス基礎 フィンテック基礎とビジネス応用 超スマートシティとSociety 5.0 ※ 金融工学 社会システム工学
専	助教	山口 裕通 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		観光デザイン学基礎※ 数理統計学基礎 データサイエンス実践 需要予測
専	助教	日比野 由利 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		データサイエンス基礎 観光データ解析演習 観光デザイン学基礎※ 世界変革技術論※ ダイバーシティ促進 観光調査法 観光データ解析応用

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	和田 啓吾 ＜令和4年4月＞ 博士(機能数理学)
		数理・データサイエンス基礎及 び演習 観光データ解析演習 観光デザイン学基礎※ 数理行動モデル基礎 観光データ解析応用
兼任	教授	大竹 茂樹 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		アントレプレナー基礎
兼任	教授	山岸 雅子 ＜令和4年4月＞ 学術博士
		観光デザイン学基礎※ 地域居住論
兼任	教授	尾島 恭子 ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		地域概論 生活デザイン論
兼任	教授	中山 晶一朗 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		観光デザイン学基礎※ 世界変革技術論※ 超スマートシティとSociety 5.0 ※ 交流ネットワーク工学 都市・交通デザイン

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	和田 啓吾 ＜令和4年4月＞ 博士(機能数理学)
		数理・データサイエンス基礎及 び演習 観光データ解析演習 観光デザイン学基礎※ 数理行動モデル基礎 観光データ解析応用
兼任	教授	大竹 茂樹 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		アントレプレナー基礎
兼任	教授	山岸 雅子 ＜令和4年4月＞ 学術博士
		観光デザイン学基礎※ 地域居住論
兼任	教授	尾島 恭子 ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		地域概論 生活デザイン論
兼任	教授	中山 晶一朗 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		観光デザイン学基礎※ 世界変革技術論※ 超スマートシティとSociety 5.0 ※ 交流ネットワーク工学 都市・交通デザイン

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	金間 大介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		イノベーション基礎
兼任	教授	藤谷 かおる 〈令和4年4月〉 修士(教育学)
		エンタテインメントマネジメント論 イベント経営論
兼任	教授	大友 信秀 〈令和4年4月〉 博士(法学)
		実践ブランディング 知的財産法
兼任	教授	寒河江 雅彦 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		情報政策論 統計的意思決定論
兼任	教授	佐無田 光 〈令和4年4月〉 博士(経済学)
		地域概論 観光デザイン学基礎※ 北陸の都市・農村・文化 比較地域発展論 文化と地域経済 ソーシャル・ビジネス論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	金間 大介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		イノベーション基礎
兼任	教授	藤谷 かおる 〈令和4年4月〉 修士(教育学)
		エンタテインメントマネジメント論 イベント経営論
兼任	教授	大友 信秀 〈令和4年4月〉 博士(法学)
		実践ブランディング 知的財産法
兼任	教授	寒河江 雅彦 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		情報政策論 統計的意思決定論
兼任	教授	佐無田 光 〈令和4年4月〉 博士(経済学)
		地域概論 観光デザイン学基礎※ 北陸の都市・農村・文化 北陸の農林水産・製造業 比較地域発展論 文化と地域経済 ソーシャル・ビジネス論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小俣 正朗 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス基礎及 び演習
兼任	教授	秋田 純一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デザイン思考 イノベーションを起こして、起 業家になろう1 イノベーションを起こして、起 業家になろう3
兼任	教授	飯山 宏一 〈令和4年4月〉 工学博士
		テクノロジー基礎※
兼任	教授	北山 哲士 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		工業デザイン
兼任	教授	佐藤 賢二 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼任	教授	足立 由美 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		健康論実践E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小俣 正朗 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス基礎及 び演習
兼任	教授	秋田 純一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デザイン思考 イノベーションを起こして、起 業家になろう1 イノベーションを起こして、起 業家になろう3
兼任	教授	飯山 宏一 〈令和4年4月〉 工学博士
		テクノロジー基礎※
兼任	教授	北山 哲士 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		工業デザイン
兼任	教授	佐藤 賢二 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼任	教授	足立 由美 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		健康論実践E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上田 望 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		グローバル時代の文学
兼任	教授	太田 亨 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B 異文化理解のためのビデオ会議 ディスカッション
兼任	教授	大藪 加奈 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (英国)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
兼任	教授	垣内 康孝 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		科学技術と科学方法論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上田 望 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		グローバル時代の文学
兼任	教授	太田 亨 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B
兼任	教授	大藪 加奈 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (英国)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
兼任	教授	垣内 康孝 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		科学技術と科学方法論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	粕谷 雄一 〈令和4年4月〉 文学修士
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語C-1 フランス語C-2 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2
兼任	教授	鎌田 啓一 〈令和4年4月〉 理学博士
		物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B
兼任	教授	小林 恵美子 〈令和4年4月〉 Ph. D. (米国)
		異文化間コミュニケーション
兼任	教授	阪上 るり子 〈令和4年4月〉 Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)
		フランス語A (充実クラスI-1) フランス語A (充実クラスI-2)
兼任	教授	坂本 二郎 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		デザイン思考入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	粕谷 雄一 〈令和4年4月〉 文学修士
		フランス語B-1 フランス語B-2 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2
兼任	教授	鎌田 啓一 〈令和4年4月〉 理学博士
		物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B
兼任	教授	小林 恵美子 〈令和4年4月〉 Ph. D. (米国)
		異文化間コミュニケーション
兼任	教授	阪上 るり子 〈令和4年4月〉 Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)
		フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語A (充実クラスI-1) フランス語A (充実クラスI-2)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐川 哲也 〈令和4年4月〉 教育学修士
		地元学A (地域資源調査) 地元学B (聞き書き) ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編
兼任	教授	櫻井 武 〈令和4年4月〉 工学博士
		化学ⅠA 化学ⅠB 化学ⅡA 化学ⅡB
兼任	教授	澤田 茂保 〈令和4年4月〉 博士(情報科学)
		TOEIC準備(演習)
兼任	教授	鈴木 信雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		海洋生化学演習
兼任	教授	高山 知明 〈令和4年4月〉 博士(言語学)
		クリティカル・シンキング
兼任	教授	滝野 隆久 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		細胞・分子生物学
兼任	教授	田邊 浩 〈令和4年4月〉 文学修士
		地域創造学特別講義C 地域創造学特別講義D

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐川 哲也 〈令和4年4月〉 教育学修士
		地元学A (地域資源調査) 地元学B (聞き書き) ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編 ローカルキャリアデザインⅠ ローカルキャリアデザインⅡ
兼任	教授	櫻井 武 〈令和4年4月〉 工学博士
		化学ⅠA 化学ⅠB 化学ⅡA 化学ⅡB
兼任	教授	澤田 茂保 〈令和4年4月〉 博士(情報科学)
		TOEIC準備(演習)
兼任	教授	鈴木 信雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		海洋生化学演習
兼任	教授	高山 知明 〈令和4年4月〉 博士(言語学)
		クリティカル・シンキング
兼任	教授	滝野 隆久 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		細胞・分子生物学
兼任	教授	田邊 浩 〈令和4年4月〉 文学修士
		地域創造学特別講義C 地域創造学特別講義D

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	玉井 郁巳 〈令和4年4月〉 薬学博士
		アントレプレナーシップ I 実践アントレプレナー学 コーヒーと社会 コーヒーと科学
兼任	教授	塚脇 真二 〈令和4年4月〉 理学博士
		地学実験 英国諸島の地史 I 英国諸島の地史 II 環境動態学概説 I 環境動態学概説 II
兼任	教授	南 相環 〈令和4年4月〉 文学修士
		金沢・能登と世界の地域文化 朝鮮語 A 1-1 朝鮮語 A 1-2 朝鮮語 A 2-1 朝鮮語 A 2-2 朝鮮語 A 3-1 朝鮮語 A 3-2 朝鮮語 A 4-1 朝鮮語 A 4-2 朝鮮語 B-1 朝鮮語 B-2 朝鮮語 C-1 朝鮮語 C-2
兼任	教授	平瀬 直樹 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		日本史要説

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	玉井 郁巳 〈令和4年4月〉 薬学博士
		コーヒーと社会 コーヒーと科学
兼任	教授	塚脇 真二 〈令和4年4月〉 理学博士
		地学実験 環境動態学概説 I 環境動態学概説 II
兼任	講師	南 相環 〈令和4年4月〉 文学修士※
		金沢・能登と世界の地域文化
兼任	教授	平瀬 直樹 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		日本史要説

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	深澤 のぞみ 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B
兼任	教授	古畑 徹 〈令和4年4月〉 文学修士
		石川県の市町 金沢の歴史と文化 東洋史要説
兼任	教授	堀井 祐介 〈令和4年4月〉 博士(言語文化学)
		道徳教育および宗教教育をグ ローバルに考える
兼任	教授	松井 三枝 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		価値と情動の認知科学
兼任	教授	三浦 要 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		哲学(自我論)
兼任	教授	峯 正志 〈令和4年4月〉 文学修士※
		口頭発表A 口頭発表B 日本事情A 日本事情B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古畑 徹 〈令和4年4月〉 文学修士※
		石川県の市町 金沢の歴史と文化 東洋史要説
兼任	教授	堀井 祐介 〈令和4年4月〉 博士(言語文化学)
		道徳教育および宗教教育をグ ローバルに考える
兼任	教授	松井 三枝 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		価値と情動の認知科学
兼任	教授	三浦 要 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		哲学(自我論)
兼任	教授	峯 正志 〈令和4年4月〉 文学修士※
		口頭発表A 口頭発表B 日本事情A 日本事情B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山崎 友也 〈令和4年4月〉 法学修士※
		日本国憲法概説
兼任	教授	吉川 弘明 〈令和4年4月〉 医学博士
		健康論実践D 心と体の健康A 心と体の健康B
兼任	教授	米田 隆 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		健康科学 イノベーションを起こして、起 業家になろう2 イノベーションを起こして、起 業家になろう4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山崎 友也 〈令和4年4月〉 法学修士※
		日本国憲法概説
兼任	教授	吉川 弘明 〈令和4年4月〉 医学博士
		健康論実践D 心と体の健康A 心と体の健康B
兼任	教授	米田 隆 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		健康科学 イノベーションを起こして、起 業家になろう2 イノベーションを起こして、起 業家になろう4
兼任	教授	大野 浩之 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		クラウド時代の「ものグラミング」概 論 シェルスクリプト言語論1 シェルスクリプト言語論2 シェルスクリプトを用いた「ものグラ ミング」演習 Society5.0概論A Society5.0概論B
兼任	教授	林 透 〈令和4年4月〉 博士(教育)
		デザイン思考入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		人工知能 データベース論
兼任	准教授	藤生 慎 〈令和4年4月〉 博士(学術情報学)
		地理情報システム演習 テクノロジー基礎※ IoT技術 時空間データ解析
兼任	准教授	ダガン さがの 〈令和4年4月〉 Master of Arts (新国)
		学域GS言語科目Ⅰ／海外実践英語 学域GS言語科目Ⅱ／時事・学術英語
兼任	准教授	林 紀代美 〈令和4年4月〉 博士(人間・環境学)
		資源活用と環境共生
兼任	准教授	田村 うらら 〈令和4年4月〉 博士(人間・環境学)
		文化と消費社会 伝統文化変容論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		人工知能 データベース論
兼任	准教授	藤生 慎 〈令和4年4月〉 博士(学術情報学)
		観光DX・PBL演習Ⅰ 観光DX・PBL演習Ⅱ 地理情報システム演習 テクノロジー基礎※ IoT技術 時空間データ解析
兼任	准教授	ダガン さがの 〈令和4年4月〉 Master of Arts (新国)
		学域GS言語科目Ⅰ／海外実践英語 学域GS言語科目Ⅱ／時事・学術英語
兼任	准教授	林 紀代美 〈令和4年4月〉 博士(人間・環境学)
		資源活用と環境共生
兼任	准教授	田村 うらら 〈令和4年4月〉 博士(人間・環境学)
		文化と消費社会 伝統文化変容論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	池上 貴之 〈令和4年4月〉 Master of Fine Arts in Design (瑞国)・ 修士(教育学)
		形態・色彩デザイン論
兼任	准教授	菊地 直樹 〈令和4年4月〉 博士(社会学)
		自然観光論 地域マネジメント論
兼任	准教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマートシティとSociety 5.0 ※
兼任	准教授	高山 雄貴 〈令和4年4月〉 博士(情報科学)
		プランニング最適化
兼任	准教授	中西 航 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		交通工学
兼任	准教授	小田桐 拓志 〈令和4年4月〉 PHD(米国)
		ケーススタディによる応用倫理 学 世界変革技術論※ 観光倫理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	池上 貴之 〈令和4年4月〉 Master of Fine Arts in Design (瑞国)・ 修士(教育学)
		形態・色彩デザイン論
兼任	准教授	菊地 直樹 〈令和4年4月〉 博士(社会学)
		自然観光論 地域マネジメント論
兼任	教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマートシティとSociety 5.0 ※
兼任	准教授	高山 雄貴 〈令和4年4月〉 博士(情報科学)
		プランニング最適化
兼任	准教授	中西 航 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		交通工学
兼任	准教授	小田桐 拓志 〈令和4年4月〉 PHD(米国)
		ケーススタディによる応用倫理 学 世界変革技術論※ 観光倫理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	井出 明 〈令和4年4月〉 博士(情報学)
		文化観光論 グローバル社会と地域の課題
兼担	准教授	河内 幾帆 〈令和4年4月〉 Doctor of Philosophy(米国)
		環境学とESD SDGs基礎 SDGs実践
兼担	准教授	茅原 崇徳 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デザイン思考入門 人間工学
兼担	准教授	浅井 暁子 〈令和4年4月〉 修士(文学)
		芸術と自己表現
兼担	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		コンピュータグラフィクス演習Ⅰ コンピュータグラフィクス演習Ⅱ プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅱ
兼担	准教授	河合 晃一 〈令和4年4月〉 博士(公共経営)
		石川県の行政

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	井出 明 〈令和4年4月〉 博士(情報学)
		文化観光論 グローバル社会と地域の課題
兼担	准教授	河内 幾帆 〈令和4年4月〉 Doctor of Philosophy(米国)
		環境学とESD SDGs基礎 SDGs実践
兼担	准教授	茅原 崇徳 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		人間工学
兼担	准教授	浅井 暁子 〈令和4年4月〉 修士(文学)
		芸術と自己表現
兼担	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		コンピュータグラフィクス演習Ⅰ コンピュータグラフィクス演習Ⅱ
兼担	准教授	河合 晃一 〈令和4年4月〉 博士(公共経営)
		石川県の行政

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	菊谷 まり子 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (Psychology) (英国)
		パーソナリティ心理学
兼任	准教授	木村 岳裕 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		エクササイズ&スポーツ 実技
兼任	准教授	木矢 剛智 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼任	准教授	上田 長生 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	小島 莊一 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		上級読解ⅡA 上級読解ⅡB アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	菊谷 まり子 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (Psychology) (英国)
		パーソナリティ心理学
兼任	准教授	木村 岳裕 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		エクササイズ&スポーツ 実技
兼任	准教授	木矢 剛智 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼任	准教授	上田 長生 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	小島 莊一 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		上級読解ⅠA 上級読解ⅠB 上級読解ⅡA 上級読解ⅡB アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	佐藤 朋子 ＜令和4年4月＞ DOCTORAT (psychoses et etats limites) (仏国)
		フランス語A 1-1 フランス語A 1-2 フランス語A 2-1 フランス語A 2-2 フランス語A 3-1 フランス語A 3-2 フランス語A 4-1 フランス語A 4-2 フランス語A (充実クラスⅡ-1) フランス語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	高田 良宏 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		A I 入門 情報の科学
兼任	准教授	趙 菁 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語A 1-1 中国語A 1-2 中国語A 2-1 中国語A 2-2 中国語A 3-1 中国語A 3-2 中国語A 4-1 中国語A 4-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語C-1 中国語C-2 中国語A (充実クラスⅡ-1) 中国語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	西嶋 愉一 ＜令和4年4月＞ 工学修士
		TOEIC準備 I TOEIC準備 II TOEIC準備 III TOEIC準備 IV 英語セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	佐藤 朋子 ＜令和4年4月＞ DOCTORAT (psychoses et etats limites) (仏国)
		フランス語A 1-1 フランス語A 1-2 フランス語A 2-1 フランス語A 2-2 フランス語A 3-1 フランス語A 3-2 フランス語A 4-1 フランス語A 4-2 フランス語A (充実クラスⅡ-1) フランス語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	高田 良宏 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		情報の科学
兼任	教授	趙 菁 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語A 1-1 中国語A 1-2 中国語A 2-1 中国語A 2-2 中国語A 3-1 中国語A 3-2 中国語A 4-1 中国語A 4-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語C-1 中国語C-2 中国語A (充実クラスⅡ-1) 中国語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	西嶋 愉一 ＜令和4年4月＞ 工学修士
		TOEIC準備 I TOEIC準備 II TOEIC準備 III TOEIC準備 IV 英語セミナー

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	早川 文人 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		ドイツ語A 1-1 ドイツ語A 1-2 ドイツ語A 3-1 ドイツ語A 3-2 ドイツ語A(充実クラスI-1) ドイツ語A(充実クラスI-2)
兼任	准教授	平松 潤奈 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		ロシア語A 1-1 ロシア語A 1-2 ロシア語A 2-1 ロシア語A 2-2 ロシア語A 3-1 ロシア語A 3-2 ロシア語A 4-1 ロシア語A 4-2 ロシア語B-1 ロシア語B-2 ロシア語C-1 ロシア語C-2
兼任	准教授	深川 美帆 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		上級読解I A 上級読解I B 日本の伝統芸能
兼任	准教授	村上 裕 ＜令和4年4月＞ 修士(地域政策)
		現代社会における保険の制度と役割I 現代社会における保険の制度と役割II

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	早川 文人 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		ドイツ語A(充実クラスI-1) ドイツ語A(充実クラスI-2)
兼任	准教授	平松 潤奈 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		ロシア語A 1-1 ロシア語A 1-2 ロシア語A 2-1 ロシア語A 2-2 ロシア語A 3-1 ロシア語A 3-2 ロシア語A 4-1 ロシア語A 4-2 ロシア語B-1 ロシア語B-2 ロシア語C-1 ロシア語C-2
兼任	准教授	深川 美帆 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B 日本の伝統芸能
兼任	准教授	村上 裕 ＜令和4年4月＞ 修士(地域政策)
		現代社会における保険の制度と役割I 現代社会における保険の制度と役割II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	村山 孝之 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		スポーツ科学
兼任	准教授	山下 治和 〈令和4年4月〉 法学修士
		行政学の基礎
兼任	准教授	山本 洋 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		香りと日本文化
兼任	准教授	吉永 匡史 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	渡辺 敦子 〈令和4年4月〉 Doctor of Philosophy (英国)
		グローバル時代の国際協力

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	村山 孝之 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		スポーツ科学
兼任	准教授	山下 治和 〈令和4年4月〉 法学修士
		行政学の基礎
兼任	准教授	山本 洋 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		香りと日本文化
兼任	准教授	吉永 匡史 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	渡辺 敦子 〈令和4年4月〉 Doctor of Philosophy (英国)
		グローバル時代の国際協力
兼任	准教授	佐藤 文彦 〈令和4年4月〉 Dr. phil. (韓国)
		ドイツ語A1-1 ドイツ語A1-2 ドイツ語A3-1 ドイツ語A3-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奥田 恒 〈令和4年4月〉 博士(人間・環境学)
		地域観光政策論
兼任	講師	ZHANG Jing 〈令和4年4月〉 博士(マネジメント)
		マーケティング基礎
兼任	講師	飯田 玲子 〈令和4年4月〉 博士(地域研究)
		現代社会と人権
兼任	講師	川越 謙一 〈令和4年4月〉 博士(数理学)
		論理学と数学の基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	篠田 隆行 〈令和4年4月〉 修士(教育学)
		ソーシャルビジネス概論 能登・地域活性化演習Ⅰ 能登・地域活性化演習Ⅱ
兼任	准教授	渡辺 達雄 〈令和4年4月〉 修士(教育学)
		地域のトップリーダーを繋ぐⅠ 地域のトップリーダーを繋ぐⅡ
兼任	講師	奥田 恒 〈令和4年4月〉 博士(人間・環境学)
		地域観光政策論
兼任	講師	ZHANG Jing 〈令和4年4月〉 博士(マネジメント)
		マーケティング基礎
兼任	講師	飯田 玲子 〈令和4年4月〉 博士(地域研究)
		現代社会と人権
兼任	講師	川越 謙一 〈令和4年4月〉 博士(数理学)
		論理学と数学の基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 葉月 〈令和4年4月〉 博士(国際公共政策)
		グローバル時代の政治経済学
兼任	講師	眞住 優助 〈令和4年4月〉 Ph. D. (米国)
		グローバル時代の社会学
兼任	講師	松浦 義昭 〈令和4年4月〉 修士(経営科学)
		統計学から未来を見る
兼任	助教	唐島 成宙 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		テクノロジー基礎※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 葉月 〈令和4年4月〉 博士(国際公共政策)
		グローバル時代の政治経済学
兼任	講師	眞住 優助 〈令和4年4月〉 Ph. D. (米国)
		グローバル時代の社会学
兼任	講師	松浦 義昭 〈令和4年4月〉 修士(経営科学)
		統計学から未来を見る
兼任	講師	有賀 三夏 〈令和4年4月〉 Master of Arts (米国)
		AI入門
兼任	講師	佐藤 圭 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球生物圏と人間
兼任	助教	唐島 成宙 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		テクノロジー基礎※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	西脇 ゆり 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼任	助教	高沼 理恵 〈令和4年4月〉 修士(政策・メディア)
		デザイン思考 アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 異文化理解とキャリア開発
兼任	助教	榎本 文彦 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		微積分学ⅠA 微積分学ⅠB 微積分学ⅡA 微積分学ⅡB 線形代数学ⅠA 線形代数学ⅠB 線形代数学ⅡA 線形代数学ⅡB
兼任	助教	小笠原 知子 〈令和4年4月〉 Master of Science(米国)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H
兼任	助教	木下 健 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		細胞・分子生物学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	西脇 ゆり 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼任	助教	高沼 理恵 〈令和4年4月〉 修士(政策・メディア)
		異文化間コミュニケーション デザイン思考入門 デザイン思考 アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 異文化理解とキャリア開発
兼任	助教	榎本 文彦 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		微積分学ⅠA 微積分学ⅠB 微積分学ⅡA 微積分学ⅡB 線形代数学ⅠA 線形代数学ⅠB 線形代数学ⅡA 線形代数学ⅡB
兼任	助教	小笠原 知子 〈令和4年4月〉 Master of Science(米国)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H
兼任	助教	木下 健 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		細胞・分子生物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	KLACANSKA JANA 〈令和4年4月〉 Master of Arts (独国)
		ドイツ語A 2-1 ドイツ語A 2-2 ドイツ語A 4-1 ドイツ語A 4-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語A (充実クラスII-1) ドイツ語A (充実クラスII-2)
兼任	助教	佐藤 智哉 〈令和4年4月〉 Ph. D. (米国)
		地域「超」体験プログラム
兼任	助教	東 昭孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		Pythonデータ分析入門
兼任	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	助教	三橋 了爾 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		インテグレート科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	KLACANSKA JANA 〈令和4年4月〉 Master of Arts (独国)
		ドイツ語A 2-1 ドイツ語A 2-2 ドイツ語A 4-1 ドイツ語A 4-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語A (充実クラスII-1) ドイツ語A (充実クラスII-2)
兼任	准教授	佐藤 智哉 〈令和4年4月〉 Ph. D. (米国)
		未来デザインプラクティス
兼任	助教	東 昭孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		Pythonデータ分析入門
兼任	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	助教	三橋 了爾 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		インテグレート科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	森 祥寛 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習 プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B Society 5.0概論
兼任	助教	尹 一喜 ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学)
		生活と社会保障
兼任	講師	岡 達哉 ＜令和4年4月＞ Master of Public Administration (米国)
		ホスピタリティ概論 観光法制度論 ホスピタリティ・マネジメント
兼任	講師	小田 佳子 ＜令和4年4月＞ 博士(体育学)
		エクササイズ&スポーツ 実技
兼任	講師	林野 紀子 ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		リノベーション論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	森 祥寛 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B
兼任	助教	尹 一喜 ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学)
		生活と社会保障
兼任	講師	岡 達哉 ＜令和4年4月＞ Master of Public Administration (米国)
		ホスピタリティ概論 観光法制度論 ホスピタリティ・マネジメント
兼任	講師	林野 紀子 ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		リノベーション論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	雄谷 ソニア 啓子 ＜令和4年4月＞ マドリード工芸大学大学院建築 学専攻修了
		スペイン語A1-1 スペイン語A1-2 スペイン語A2-1 スペイン語A2-2 スペイン語A3-1 スペイン語A3-2 スペイン語A4-1 スペイン語A4-2 スペイン語B-1 スペイン語B-2 スペイン語C-1 スペイン語C-2
兼任	講師	田中 源吾 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		地球生物圏と人間

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	雄谷 ソニア 啓子 ＜令和4年4月＞ マドリード工芸大学大学院建築 学専攻修了
		スペイン語A1-1 スペイン語A1-2 スペイン語A2-1 スペイン語A2-2 スペイン語A3-1 スペイン語A3-2 スペイン語A4-1 スペイン語A4-2 スペイン語B-1 スペイン語B-2 スペイン語C-1 スペイン語C-2
兼任	講師	宋 有幸 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		朝鮮語A1-1 朝鮮語A1-2 朝鮮語A2-1 朝鮮語A2-2 挑戦語A3-1 朝鮮語A3-2 朝鮮語A4-1 朝鮮語A4-2
兼任	講師	CHOI JUNGAH ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		朝鮮語B-1 朝鮮語B-2 朝鮮語C-1 朝鮮語C-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

・西山宣昭教授、松田(白石)真希子教授、佐無田光教授、太田亨教授、阪上り子教授、佐川哲也教授、塚脇真二教授、藤生慎准教授、茅原崇徳准教授、井町智彦准教授、小島莊一准教授、高田良宏准教授、早川文人准教授、深川美帆准教授、高沼(村上)理恵助教、森祥寛助教の担当授業科目を変更。 ・粕谷雄一教授、南相環教授を兼任・教授から兼任・講師へ変更し、担当授業科目を変更。 ・科目の見直しにより、坂本二郎教授、深澤のぞみ教授、小田住子講師、田中源吾講師の兼任・兼任を取り消し。 ・科目の見直しにより、大野浩之教授、林透教授、佐藤文彦准教授、篠田隆行准教授、渡辺達雄准教授、有賀三夏(てるみ)講師、佐藤圭講師を兼任教員に追加。 ・科目の見直しにより、宋有宰講師、CHOI JUNG AH講師を兼任教員に追加。 ・畑光彦准教授、趙菁准教授の職階を准教授から教授に変更。 ・佐藤智哉助教の職階を助教から准教授に変更し、担当授業科目を変更。
--

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
9	5	0	3	17	0	8	5	0	3	16	0
(8)	(5)	(0)	(3)	(16)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
9	5	0	3	17	0	9	5	0	3	17	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階まで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{17} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
							該当なし
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
							該当なし
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{17} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<融合学域 観光デザイン学類>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 融合系教育研究会議教務・学生生活委員会。 関係規程「金沢大学融合研究域等管理運営規程」添付。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員は、融合研究域の専任教員5名及び学生課長。 開催は、1か月に約1回。</p> <p>c 委員会の審議事項等 融合学域に係る教育課程、授業計画、学生指導・支援、教育改善及びFDなどを審議する。</p> <p>② 実施状況</p> <p>・ 融合学域観光デザイン学類教学FD</p> <p>a 実施内容 文理融合教育、カリキュラム等について、観光デザイン学類関係教員が幅広く議論し、教育内容・方法の理解・向上を図る。</p> <p>b 実施方法 オンライン開催</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 令和3年7月28日(水)開催、13名が参加</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 文理融合教育、カリキュラム等の理解を深め、教育方法の向上に活かす。</p> <p>・ 全学FD研修会「新任教員説明会<教育・学生編>」</p> <p>a 実施内容 本学ポータルサイト及び教務システムの活用、学生指導と支援、学生の心のケア及び学生相談他</p> <p>b 実施方法 対面による講義、質疑応答</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 令和4年4月4日(月) 10:00-11:55 参加教員数：45名</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 各教員が自身の授業や学生指導に活かす。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 クォーター毎に実施する。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 学期毎に集計の上、本学Webサイトにて教職員及び学生に公開する。</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 設置の趣旨・目的に沿った教育研究体制を整備し、令和4年4月の開設が順調に行われた。 施設整備、教員配置、カリキュラム設計など、設置計画どおりに達成している。</p> <p>② 自己点検・評価報告書 学内規程に基づき、定期的に、部局の自己点検評価を実施することとしている。 ・令和4年度：全学的な基本データの分析による自己点検を行っている。</p> <p>a 公表（予定）時期 ・基本データ分析による自己点検を令和4年末までに公表予定</p> <p>b 公表方法 ・大学Webサイト上に公開</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 (専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。) ・令和3年度に、評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し、適合の認定を受けた。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>《aで「有」の場合》</p> <p>b 公表（予定）時期 [<input checked="" type="radio"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [<input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ <input type="radio"/> その他 ()]</p> <p>《aで公表「無」の場合》</p> <p>d 公表しない理由 []</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。